

第 12 回全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会

サミット宣言

1993 年札幌で始まった全国路面電車サミットも、今回で 12 回目。全国から芝生軌道と新車庫をご覧に多くの方々に鹿児島にお越し頂くことができました。

欧米から始まった路面電車の見直しは今や世界に波及し、LRT 新設都市は昨年末で 155 都市となっています。一方、日本では富山の次が続きませんでした。ようやく札幌では環状化工事、福井では 2 社の接続工事と駅前乗入工事が始まり、宇都宮では新設 LRT が着工目前となっています。

サミットでは、世界から 2 周回遅れとなりつつある日本の LRT 導入の現状が議論され、市民の間で「交通まちづくり」「歩いて楽しいまちづくり」などの理解が進んでいないことが、明らかになりました。

そこで我々は、市民団体連合として「LRT は民主主義の教科書」となるべく、単に LRT を導入するのではなく、幅広い市民合意形成のモデルとなるよう、各地の団体が連携して取り組むことを誓います。

また、今回連携することができた路面電車事業者、国会新交通システム推進議員連盟、LRT をめざす地方自治体などとも、今後もより緊密な連携を模索します。

平成 27 年 10 月 25 日

第 12 回全国路面電車サミット 2015 鹿児島実行委員会

次回開催は未定ですが、引き続き LRT 都市サミットなどとの連携も考慮します。